

## 4. 推進のための数値目標

本プランの進行管理において、推進状況を客観的に評価するための方策として、数値による指標の設定とその定期的把握が効果的です。

男女共同参画の推進状況を把握するために、令和8(2026)年度に達成すべき数値目標を設定します。

基本目標		指標	基準値 (R2年度)	方向	目標値 (R8年度)
I	人権尊重と男女共同参画の視点を立った社会づくり	1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対する市民の割合	76.6%	↗	83%
		2 「LGBT等の性的マイノリティ(性的少数者)」を「内容も知っている」とする人の割合	-	↗	60%
		3 市民向け男女共同参画啓発講座の開催回数	2回	↗	5回
		4 女性に対する暴力根絶に関する講座等の開催回数	2回	↗	3回
II	女性の家庭生活が活躍できる社会の参画促進の实现と男性	5 「仕事と自分の生活の両立ができてい」とする市民の割合	76.5%	↗	79%
		6 育児休業を取得したと回答する保護者(①母親、②父親)の割合	①39.0% ② 3.4%	↗	① 50% ② 5%
		7 女性活躍企業表彰等受賞企業数	1社	↗	3社 (令和8年度までの累計)
		8 女性の就労や起業に関するセミナー・個別相談の参加人数(オンライン参加含)	196人	↗	250人
		9 男性の家事・育児参画促進事業の参加人数(オンライン参加含)	205人	↗	260人
III	社会のあらゆる男女共同参画分野に	10 審議会等における女性委員の登用率	28.9%	↗	40~60%
		11 市役所における女性管理職の割合(市役所全体)	27.5%	↗	30%
		12 市役所における制度が利用可能な男性職員の ①配偶者出産休暇取得割合 ②育児参加のための休暇の取得割合	①53.3% ② 7.0%	↗	①80% ②30%
IV	絶ら配偶者の暴力等根ゆか	13 デートDV防止、アンガーマネジメント出張授業実施校数(市内学校)	1校	↗	5校
		14 DVの被害を受けたが誰にも相談しなかった(できなかった)人の割合(5年毎)	32.6%	↘	25%

